

第3回キリスト教を土台として  
「沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」  
開催報告

2015年8月31日から9月3日までの4日間、沖縄キリスト教学院で「第3回キリスト教を土台として 沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」を開催し、北海道、関東、関西、中国、九州、沖縄から20名の若者たちが集まり、充実した学びと交流が行なわれました。

8月31日から9月2日までフィールドワークとして、嘉数高台や佐喜眞美術館、読谷村、辺野古などを訪れ、沖縄戦や現在の米軍基地問題について学びました。また、新基地建設予定地などで現地に身を置いて体験する学習をしました。

今回、日本キリスト教団うふざと伝道所牧師であり、辺野古新基地建設阻止の海上行動で船長を務めておられる山田啓人牧師を講師にむかえ、聖書にたって平和をつくることに従事している立場から多くの学びを与えられました。

最終日には共に学び、出会ったことを皆の祈りにして分かち合いました。

【フィールドワークの様子】



嘉数高台にて



辺野古にて



千比利ガマにて

## 【学生の発題とグループワークの様子】



広島の子生による発題「ヒロシマから考える平和」



沖縄キリスト教学院学生(チーム琉球)による活動報告



学び合いで出会えた仲間たち！



グループワークで

～私たちの祈り～

今回の学び合いを通して、素敵なメンバーに出会えたことに感謝します。彼ら/彼女らと共に知識を得ることもできました。

沖縄の抱えている課題に対して疑問を持つと共に、私たちは新たな問いが与えられました。今回与えられた問いへのこれからの道のりをお守りください。

五感を使って戦争の悲惨さだけでなく、今を生きる私たちが考えるべきことや、課題を見つけることができました。

それぞれの地に在る人との隔たりを感じ、自らの立つ場所によって守るべき美しさに気づきました。祈りによる平和の実現のために、私たち一人ひとりの小さな力を、あなたによって大きな力としてください。

自分の足元を見て、自分のできることをします。また、平和について考え続けていきます。

※2015年11月2日(月)9時50分～の月曜礼拝において、チーム琉球の学生たちによる「沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」の報告会を行います。皆様、ぜひご参加ください。

お問い合わせ先：沖縄キリスト教平和研究所